平成27年度 下水道事業会計決算

問い合わせ　下水道総務課　☎239-1030　FAX239-1037

下水道事業は、平成27年度から民間の企業会計原則の考え方を取り入れた地方公営企業法適用会計を導入しました。また、下水道使用料などで運営されている下水道事業の効率化を図り、下水道普及率向上に向けた下水道の整備、維持管理に取り組みました。今回は、企業会計として初めてとなる平成27年度下水道事業会計決算(第３回市議会定例会で認定)について紹介します。

主な事業と業務量の概要

主な事業

汚水整備(処理区名)	整備面積	工事内容
雲出川左岸処理区	17.4ha	開削工2,795m、推進工63m
志登茂川処理区	5.5ha	開削工1,532m、推進工325m
松阪処理区	2.7ha	開削工581m、推進工143m
椋本処理区	4.2ha	開削工694m
雨水整備	**延　長**	**工事内容**
管きょ整備	638.9m	開削工73.8m、推進工565.1m

業務量の概要(平成28年３月31日現在)

行政区域内人口(A)	28万2,194人
処理区域内人口(B)	12万7,804人
水洗化人口	11万1,606人
普及率(B)/(A)	45.29%
汚水処理水量(１日平均)	1,615万2,413㎥(４万4,132㎥)
有収水量(１日平均)	1,280万2,190㎥(３万4,979㎥)

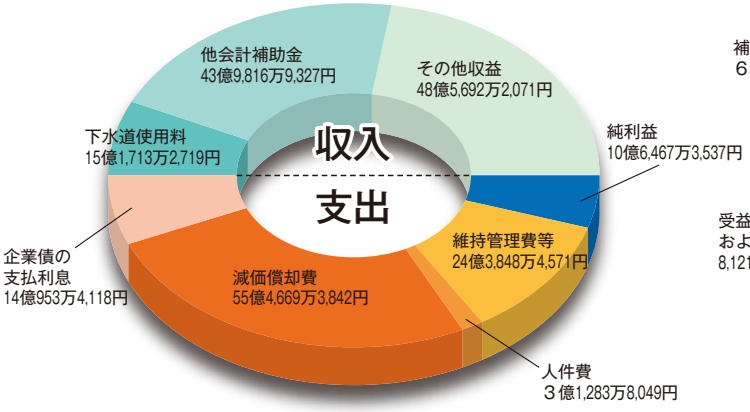
収支の状況

下水道事業会計の収支は、経常的な収支を表す収益的収支と投資的な収支を表す資本的収支の２種類に分けられます。

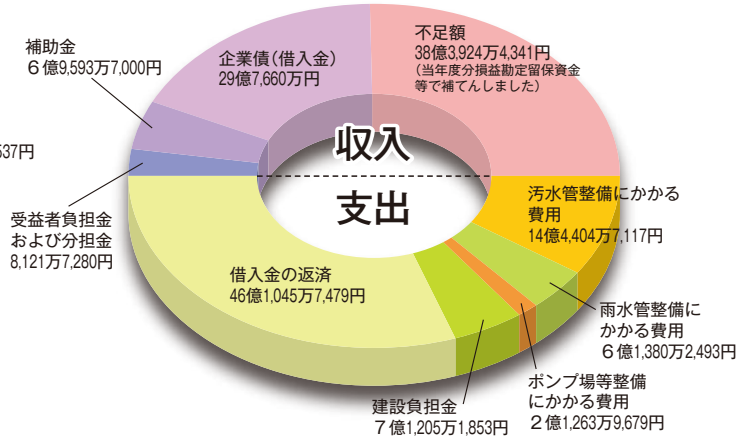
収益的収支は、下水道事業収益が107億7,222万4,117円、下水道事業費用が97億755万580円で、収支差引10億6,467万3,537円の純利益が生じていますが、この利益により当年度資本的収支の不足額を補てんしています。また、営業費用(事業活動のために生じる費用)に対して営業収益(営業活動から生じる利益)が大幅に不足することから、一般会計からの繰入金(他会計補助金)により事業運営を行っている状況で、今後も一般会計からの繰入金に依存する厳しい経営状況が続きます。

平成27年度実施工事
「半田川田ポンプ場(上屋建築)築造工事」

【収益的収支】



【資本的収支】



収益的収入	107億7,222万4,117円
収益的支出	97億　755万　580円
純　利　益	10億6,467万3,537円

※税抜き

資本的収入	37億5,375万4,280円
資本的支出	75億9,299万8,621円
収 支 差 引	△38億3,924万4,341円

※税抜き、△はマイナスを表す